

編集後記

今号の特集が「トンネル」という事で、長年「トンネル工事」にたずさわってきた私にとって願ったりかなったりの特集となりました。毎年、担当号が回ってきて、多少門外漢の特集の場合は、ネタ探しに四苦八苦しております。今回は、普段から何とか独自性のあるトンネル施工技術を開発して他社に差をつけたいと、四苦八苦している課題なもので、比較的取っ掛かりやすかったようです。毎回こうだと助かるのですが。

「トンネルの施工技術」というと、最近はいわゆる「技術提案ネタ」に直結します。今回、覆工の養生技術にスポットを当ててみたのですが、本当に各社、頭をひねって、お金をかけて独自技術開発を行っている様子が見て取れます。でないと「総合評価型入札制度で勝ち残って行く事が出来ない！」と、ハッパをかけられている姿も目に浮かびます。結果、主要ゼネコンの数だけ、覆工養生技術があるといっているような状況です。そのような中、数多ある養生技術ですが、実はそんなにビックリするような飛びぬけた新技術があ

るわけではありません（各社開発者の方々申し訳ございません）。コンクリートの基本である、温度と水分量をいかにコントロールするか、そして説得力のある独自性を持たせる事ができるか、が焦点となっているようです。で、結果、数多の新技術と、それに説得力を持たせるための基礎技術のレベルアップが、たった、ここ1～2年で成し遂げられたわけです。これは、覆工技術だけの話では無いのももちろんで、日本国の土木技術の“技術維新”と後年語られるでしょう。というのは大げさ過ぎました。でも、今も私の席の後ろでは、総合評価対策チームが、顔をゆがめて技術提案と格闘しています。日本全国で同じ光景が繰り返されていることでしょうか。以前には無かった光景です。何かと、問題も指摘されている総合評価型入札制度ですが、技術力への回帰を促した功績は大きいのではと、あまりの忙しさと、ネタ切れの焦燥感にダウン寸前で愚痴りあっている今日この頃のトンネル屋です。

最後になりますが、お忙しい中ご執筆をいただいた皆様には深く感謝申し上げます。

(京免・圓尾)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
加納研之助	桑垣 悦夫
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	塚原 重美
寺島 旭	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

編集委員長

岡崎 治義 (株)東京建設コンサルタント

編集委員長代行

太田 宏 三井造船(株)

オブザーバ

山下 尚 国土交通省

編集委員

山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
松本 久	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
田岡 秀邦	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
松澤 享	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

10月号「新しい高度な施工技術の開発と実用化特集」予告

- ・超高層建設における大型タワークレーンの特殊装置
超高層建設への揚重技術のアプローチと展望
- ・「U桁リフティング架設工法」を採用した大規模PC高架橋の施工
第二京阪道路 茄子作地区PC上部工事
- ・エルエスカッター工法
- ・エアロ・ブロック工法の開発と実用化
- ・多様なトンネル断面を掘削するシールド掘進機「アポロカッター工法」
- ・環境配慮工法（フォームドアスファルト）にて
路盤再生（現位置リサイクル）をより効率的に行う専用機の開発
- ・振動ローラ加速度応答法による地盤剛性評価装置「 α システム」の開発と実用化

No.727「建設の施工企画」 2010年9月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成22年9月20日印刷

平成22年9月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内
電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上への(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8 (精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp
担当 本社編集部 宗像 敏